



国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2024-2025 年度 2655 回例会 9 月 18 日

地区ガバナー 小泉 久司 クラブ会長 深沢 成彦

●2654 回例会 (9/2) 例会報告

●ウクライナ難民支援チャリティーコンサート



藤原和奏 (ピアノ)



滋野大成 (ピアノ)



藤原彩歌 (ハープ)

昨年度、甲府北 RC では「甲府北ロータリークラブを世界平和実現の起点にしよう」というテーマで、世界に希望を生み出すためのきっかけ作りができないか計画をしていました。世界には紛争や戦争が絶えない一方で、ロータリークラブは奉仕の理念を共有して世界平和を求めて 100 年以上続く世界的なネットワークがあります。

これをたどって世界平和への一歩としてなにかできないか？また報道の中だけでの情報ではなく、現地でいま何が起きているのかを直接聞ける機会はないだろうか？そういう思いから、ロシアのロータリークラブとコンタクトを取るために我々は動き出しました。

インターネット上で調べていくと、戦争難民への支援を行っている「モスクワ東 RC」が存在することを知り、すぐにメールを送ったところ、検閲の恐れからか、なかなかいいリアクションがもらえずうまく進展しませんでした。

そんな中、一人の日本人からメッセージを受け取りました。藤原さんという藤沢西ロータリークラブから地区財団奨学生として留学している方です。彼女はロータリーの理念を理解しており、ロシア・ウクライナ間の戦争について何かできないかとずっと考えていましたが、現地ではそんな話題も話せない状況の中にいました。そんな折に、我々が送ったグループメッセージを見て、自分でもこれならできると思い、モスクワ東ロータリーとのパイプ役を買って出してくれました。

その結果、2024 年 5 月 20 日には、甲府北ロータリークラブとモスクワ東ロータリークラブとの

ZOOMによる合同例会を開催することができました。現実的には難しいと言われていた中、実際にメッセージのやり取りだけでなく、オンラインでつながる事ができました。そこに実際に通訳として参加して下さったのは、チャリティコンサート奏者の滋野さんです。そこで何かが決まったわけでも、大きい変化をもたらせる成果が出たわけでもありません。それでも平和への思いを重ねてつながりを持てたことが、そしてその思いを国や背景を超えて共有できたことは、世界平和への大きな一歩となったと感じます。

今回のコンサートの目的は、収益を戦争難民への支援につなげることと共に、平和への思いに共感していただき、「行動を起こし、繋がりを持つことで小さな一歩から大きなうねりをおこせる」という事をお伝えすることです。この目的は、今回関わってくれた藤原さんや滋野さんからのご提案でした。これは世界平和のために何ができるか？と動いていてきたロータリークラブも共感できる内容だと思います。是非に皆さまお誘いあわせの上、ご参加ください。よろしくお願いいたします。

甲府北ロータリークラブ 2024-25 年度会長 深沢 成彦



●2654 回例会 (9/2) ニコニコボックス紹介

廣瀬会員より、今月の例会に出られないとのことでニコニコが届きました。

2日のチャリティコンサート、お疲れさまでした。大勢の方のご入場をいただき感謝しています。終了後出口でお一人のご婦人が話しかけてきました。「とても感動して家に行って金庫を持ってくる」と伝えてきました（お断りしましたが）「今夜会場を通った時、入場させていただきとても感動した」とのことです。お話しの最後は「今日ガンの宣告をされて、ただ歩いていた。心がとてもさわやかになり穏やかな気持ちでいます」とのことでした。コンサートが人々を応援する第一歩になったと思いました。

深沢会長はじめ皆さま、本当にお疲れさまでした。